■ 経営類型-1 林業経営体:自己森林(スギ・ヒノキ)

■ <u>経営類型-1</u> 林 経営類型	経営規模	, , , , ,		生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】		(機械装備)		複式簿記の記帳	販売活動の強化
(自家労働主体型)	(樹種別面積)		高性能林業機械システム		青色申告の実施	
(スギ・ヒノキ)	●スギ人工林			6.6 (m³/人日)		技術の改良・開発
		70 ha		(伐期等)		
	(地位) 中		・伐期	50 年で保続的な収穫を目指す。		作業効率の向上
			・スギ中径材(径級20~28	Scm)		
			(作業道等)			労働災害防止や安全衛生施設の導入等
			・林内路網密度	⁵⁰ m∕ha		
			(生産量等)			森林施業技術や経営方法に関する研修受講
			・年間伐採量	735 _{m³}		
			・年間保育作業量	¹⁸ ha		
	【自己森林】		(機械装備)		1	
	●スギ人工林		高性能林業機械システム			
		25 ha		6.6 (m³/人日)		
	(地位)中		・伐期	(伐期等)		
			・スギ大径材(径級30~38	80 年で保続的な収穫を目指す。 3cm)		
			(作業道等)	(CL)		
			・林内路網密度	⁵⁰ m∕ha		
			(生産量等)			
				165. 9 _{m³}		
			・年間保育作業量	⁴ ha	1	
	【自己森林】		(機械装備)			
	●ヒノキ人工林	95 ha	高性能林業機械システム	6 6 (m³ / 1 □)		
	(地位)中	25 ha	(伐期等)	6.6 (㎡/人日)		
	(地位) 下		・伐期	55 年で保続的な収穫を目指す。		
			・ヒノキ中径材(径級20~			
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			左明小	(生産量等)		
				181. 8 m ³		
			・年間保育作業量	6 _{ha}		

■ 経営類型-2 林業経営体:自己森林(スギ・ヒノキ)

経営類型	経営規模			生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】		(機械装備)		複式簿記の記帳	販売活動の強化
(自家労働主体型)	(樹種別面積)		高性能林業機械システム		青色申告の実施	
(スギ・ヒノキ)	●スギ人工林			6.6 (m³/人日)		技術の改良・開発
		85 ha	(伐期等)			
	(地位) 中		・伐期	50 年で保続的な収穫を目指す。		作業効率の向上
			・スギ中径材(径級20~2	28cm)		
			(作業道等)			労働災害防止や安全衛生施設の導入等
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)			森林施業技術や経営方法に関する研修受講
			・年間伐採量	892. 5 m³		
			・年間保育作業量	22 ha		
	【自己森林】		(機械装備)			
	●ヒノキ人工林		高性能林業機械システム			
		35 ha		6.6 (m³/人日)		
	(地位) 中		(伐期等)			
			・伐期	55 年で保続的な収穫を目指す。		
			・ヒノキ中径材(径級20~	~28cm)		
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)			
			・年間伐採量	254. 5 m³		
			・年間保育作業量	8 ha		

■ 経営類型-3 林業経営体:自己森林(スギ)

経営類型	経営規模		生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】	(機械装備)		複式簿記の記帳	販売活動の強化
(自家労働主体型)	(樹種別面積)	高性能林業機械システム		青色申告の実施	
(スギ)	●スギ人工林	6. (6 (m³/人日)		技術の改良・開発
	120 ha				
	(地位) 中	(伐期等)			作業効率の向上
		· 伐期 50	0 年で保続的な収穫を目指す。		
		・スギ中径材(径級20~28cm)			労働災害防止や安全衛生施設の導入等
		(作業道等) ・林内路網密度 50 (生産量等)	0 m∕ha		森林施業技術や経営方法に関する研修受講
		・年間伐採量 1260.0	0 m ³		
		·年間保育作業量 3	1 ha		

■ 経営類型-4 林業経営体:自己森林(スギ)+特用林産(菌床シイタケ)

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】	(機械装備)	複式簿記の記帳	販売活動の強化
(自家労働主体型)	(樹種別面積)	高性能林業機械システム	青色申告の実施	
(スギ) +特用林産	●スギ人工林	6.6 (㎡/人日)		技術の改良・開発
(菌床シイタケ)	55 ha	(伐期等)		
	(地位)中	・伐期 50 年で保続的な収穫を目指す。		作業効率の向上
		・スギ中径材 (径級20~28cm)		
		(作業道等)		労働災害防止や安全衛生施設の導入等
		・林内路網密度 50 m/ha		
		(生産量等)		森林施業技術や経営方法に関する研修受講
		・年間伐採量 584.1 m ³		
		・年間保育作業量 14 ha		
	【自己森林】	(機械装備)		
	●ヒノキ人工林	高性能林業機械システム		
	10 ha	6.6 (㎡/人日)		
	(地位) 中	(伐期等)		
		・伐期 55 年で保続的な収穫を目指す。		
		・ヒノキ中径材 (径級20~28cm)		
		(作業道等)		
		・ 林内路網密度 50 m ∕ ha		
		(生産量等)		
		・年間伐採量 72.7 ㎡		
	I d \ ab d → I	・年間保育作業量 2 ha		
	【生シイタケ生産】	・シイタケ菌床栽培		
	〈生産規模〉	・ 菌床製造 〈機械・施設装備〉		
	年間菌床袋数 10,000 袋	(機械・旭政装備/ 発生ハウス 2 棟		
	10,000 🙊	暖房機 1台		
		包装機 1 台		
		出荷作業場 1 棟		
		保冷庫 1 <u>基</u>		
		軽トラック 1台		
		〈生産量〉		
		生シイタケ 7000 kg		

■ 経営類型-5 林業経営体:自己森林(スギ・ヒノキ)+施業受託

経営類型	経営規模			生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】		(機械装備)		複式簿記の記帳	販売活動の強化
(自家労働主体型)	(樹種別面積)		高性能林業機械システム		青色申告の実施	
(スギ・ヒノキ) +	●スギ人工林			6.6 (m³/人日)		技術の改良・開発
施業受託		30 ha	(伐期等)			
	(地位) 中		・伐期	50 年で保続的な収穫を目指す。		作業効率の向上
			・スギ中径材(径級20~280	em)		
			(作業道等)			労働災害防止や安全衛生施設の導入等
			• 林内路網密度	50 m/ha		
			(生産量等)			森林施業技術や経営方法に関する研修受講
			・年間伐採量 3	15. 0 m³		
			·年間保育作業量	8 ha		
	【自己森林】		(機械装備)			
	●スギ人工林		高性能林業機械システム			
		15 ha		6.6 (m³/人日)		
	(地位) 中		(伐期等)			
			・伐期	80 年で保続的な収穫を目指す。		
			・スギ中径材(径級30~386	em)		
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m/ha		
			(生産量等)			
			・年間伐採量	70 m³		
	F. 1 - 1 - 1 - 1 - 1		・年間保育作業量	2 ha		
	【自己森林】 ●ヒノキ人工林		(機械装備) 高性能林業機械システム			
	●ピノヤ八上杯	10 ha	同性化学未成倣シヘノム	6.6 (m³/人日)		
	(地位) 中	10 IIa	(伐期等)	0.0 (m/ /(H)		
	, 4,4,		・伐期	55 年で保続的な収穫を目指す。		
			・ヒノキ中径材(径級20~2			
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)	2		
			・年間伐採量	72 m ³		
	【施業受託】		・年間保育作業量 〈受託作業量 〉	3 ha	-	
	作業面積		・保育受託	15 ha		
	保育間伐		F11-17-2-HW			
		15 ha				

■ 経営類型-6 林業経営体:自己森林(スギ・ヒノキ)

経営類型	経営規模			生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
自己森林	【自己森林】		(機械装備)		複式簿記の記帳	販売活動の強化
(請負労働主体型)	(樹種別面積)		高性能林業機械システム		青色申告の実施	
	●スギ人工林			6.6 (m³/人日)		技術の改良・開発
		250 ha	(伐期等)			
	(地位) 中		・伐期	50 年で保続的な収穫を目指す。		作業効率の向上
			・スギ中径材(径級20~280	em)		
			(作業道等)			労働災害防止や安全衛生施設の導入等
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)			森林施業技術や経営方法に関する研修受講
			・年間伐採量	1890 m³		
			・年間保育作業量	47 _{ha}		
	【自己森林】		(機械装備)			
	●スギ人工林		高性能林業機械システム			
		120 ha		6.6 (m³/人日)		
	(地位) 中		(伐期等)			
			・伐期	80 年で保続的な収穫を目指す。		
			・スギ中径材(径級30~380	em)		
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)			
			・年間伐採量	420 m³		
			・年間保育作業量	10 ha		
	【自己森林】		(機械装備)			
	●ヒノキ人工林		高性能林業機械システム			
		80 ha		6.6 (m³/人日)		
	(地位)中		(伐期等)			
				55 年で保続的な収穫を目指す。		
			・ヒノキ中径材(径級20~2	28cm)		
			(作業道等)			
			・林内路網密度	50 m∕ha		
			(生産量等)			
			・年間伐採量	440 m³		
			・年間保育作業量	15 ha		

■ 経営類型-7 林業事業体:素材生産

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
	(年間素材生産量)	(機械装備)		林業に関する技術者又は技能者の配置
	5, 000 m ³	高性能林業機械システム		
		・プロセッサ		林業カレッジ等中核的林業技術者研修や高 性能林業機械オペレーター養成研修への林 業従事者の派遣
		・フォワーダ		
		(生産性) 6.6m ³ /人日		森林施行技術や販売方法等に関する研修の 受講
素材生産			林業部門と他部門の会計処理の 分離	高性能林業機械のリース事業の積極的活用
				定期的な休日制の導入
				月給制の導入
				社会保険の加入促進
				労働災害防止や安全衛生施設の導入等

■ 経営類型-8 林業事業体:素材生産+造林保育事業

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
素材生産	(年間素材生産量)	(機械装備)		林業に関する技術者又は技能者の配置
+ 造林保育	2,000 m ³ 〈年間造林保育面積〉 100 ha	高性能林業機械システム ・プロセッサ ・フォワーダ (生産性) 6.6㎡/人日	林業部門と他部門の会計処理の 分離	杯栗カレッシ等甲核的杯栗技術者研修や高性能林業機械オペレーター養成研修への林森林施行技術や販売方法等に関する研修の受講高性能林業機械のリース事業の積極的活用定期的な休日制の導入 月給制の導入 社会保険の加入促進 労働災害防止や安全衛生施設の導入等

■ 経営類型-9 林業事業体:造林保育事業

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
	(年間造林保育面積)			林業に関する技術者又は技能者の配置
	300 ha			森林施行技術や販売方法等に関する研修の 受講
				定期的な休日制の導入
造林保育			林業部門と他部門の会計処理の 分離	月給制の導入
				社会保険の加入促進
				労働災害防止や安全衛生施設の導入等
				緊急雇用対策への積極的対応

■ 経営類型-10 森林整備法人等

経営類型		生産方式	経営管理の方法	事業実行方式
	(経営面積の目標)		施業の団地化	〈事業活動の改善〉
	第2次経営計画終了時			適時・適切作業の確保
	1, 690ha		契約期間の長期化	
				〈路網の整備〉
	〈樹種の割合〉		財源の確保	積極的な整備
	現在:スギ 24	ł %		
	ヒノキ 75	5 %	執行体制の強化	〈林業機械の活用〉
	アカマツ 1	. %		高性能林業機械の活用、普及
	\downarrow			
	平成18年度			〈作業形態の合理化〉
森林整備法人等	スギ 24	ł %		森林組合との施業委託契約、労務適正化
	ヒノキ 75	5 %		
	アカマツ 1	. %		〈販売活動の強化〉
				入札方式の改善、販売先地域の拡大
	〈保育の基準〉			
	・1-7年生 下刈			〈福利厚生、労働安全衛生、労働力の確保〉
	・12-13年生 除伐			各種保険への積極的加入を受託事業体に指
	・17-20年生 保育間伐			導、夏期下刈り等臨時雇用確保の強化
				〈事業の推進〉
				分収造林、分収育林事業の推進